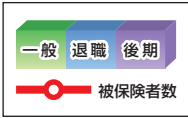
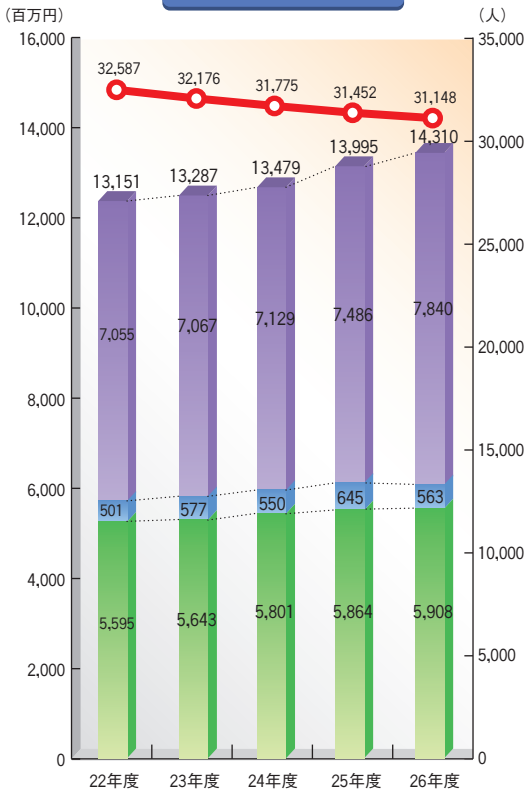


大田原市

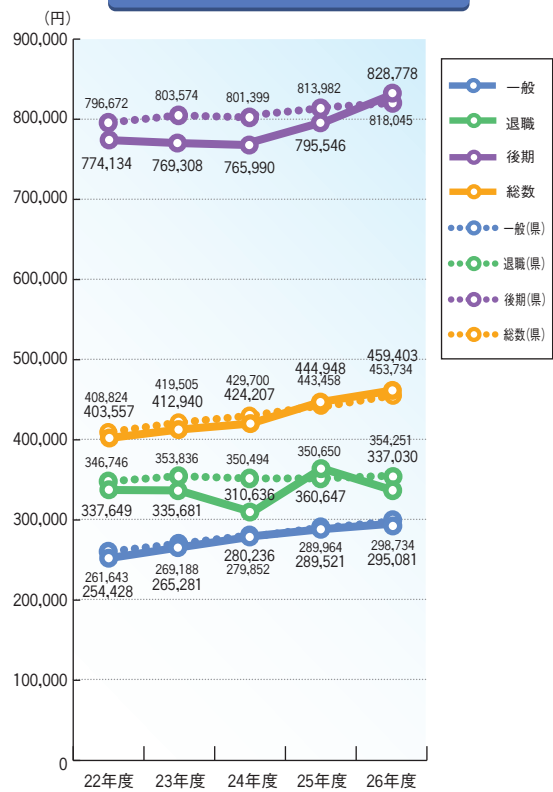
大田原市



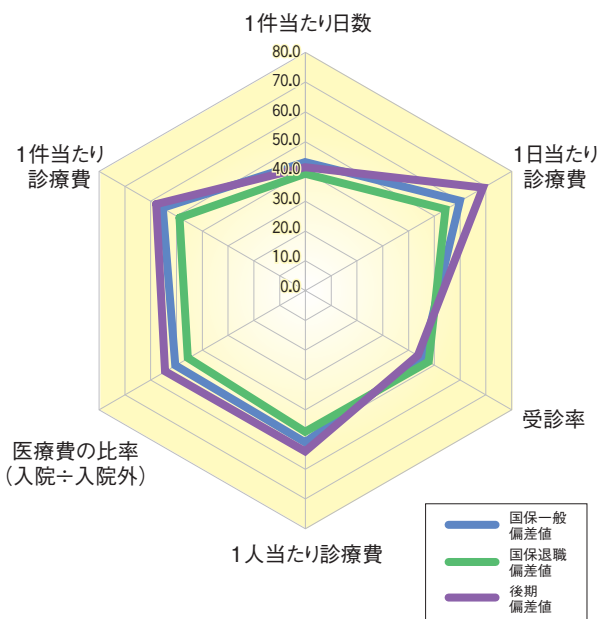
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

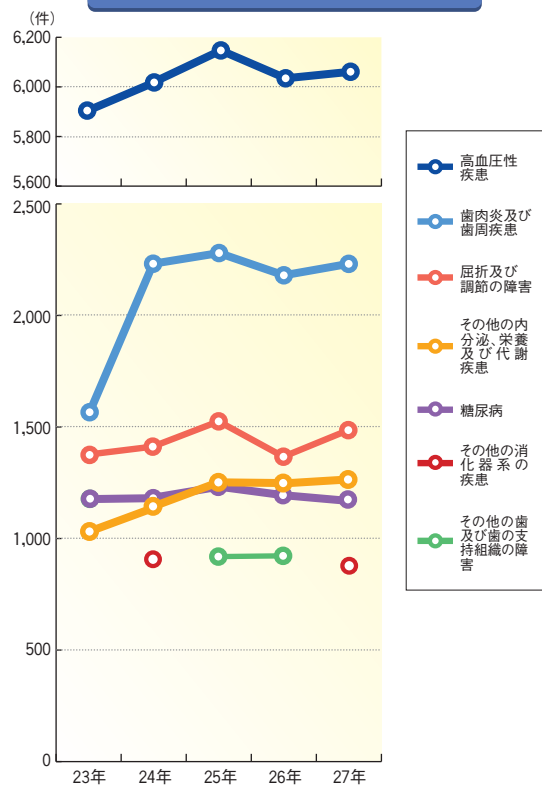


平成26年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

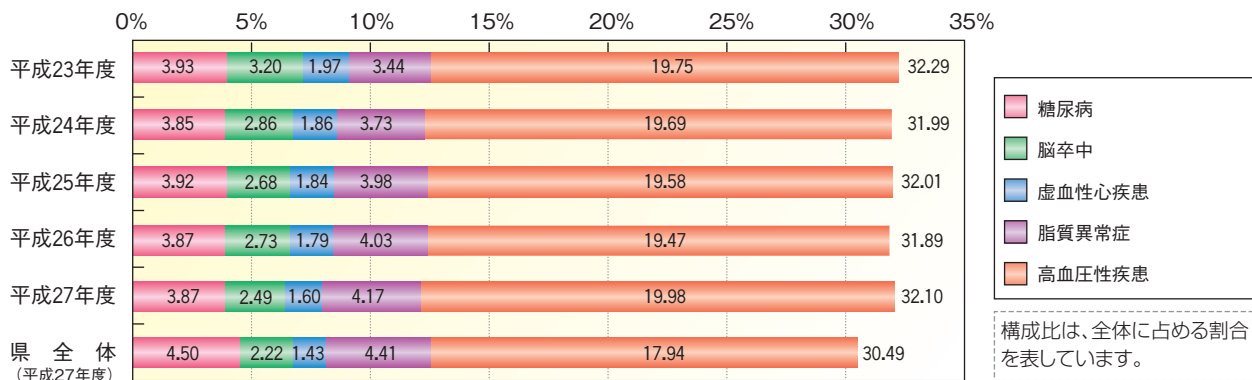


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

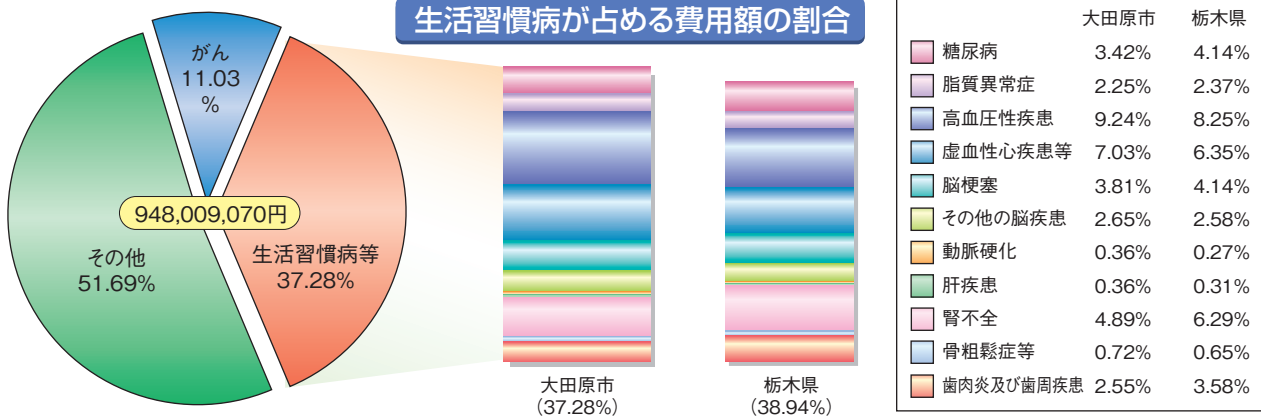
多受診疾病上位6位の推移



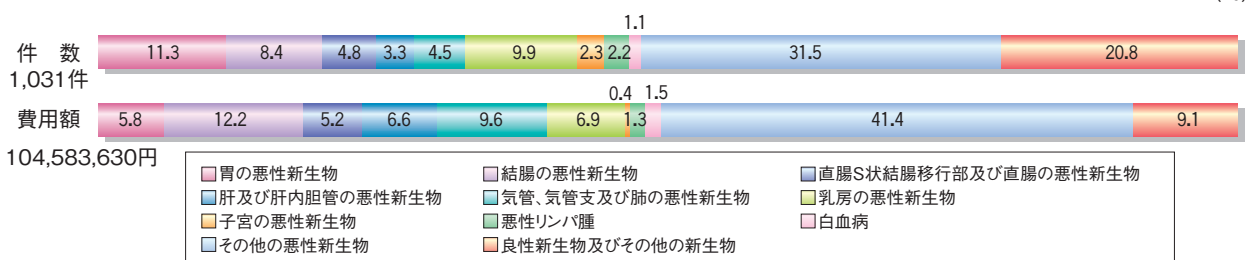
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



大田原市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般5,907,513千円(100.7%)、退職562,504千円(87.2%)、後期7,839,548千円(104.7%)で、全体では14,309,564千円(102.2%)と増加している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は31,148人で、内訳は一般20,020人、退職1,669人、後期9,459人である。1前年度比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は459,403円(14,455円増)、一般は295,081円(5,560円増)、退職は337,030円(23,617円減)、後期は828,778円(33,232円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費においては、いずれの法別も県の値を上回る高い偏差値となっており、1件当たりの日数、受診率は、いずれの法別も県の値を下回っている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の消化器系の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

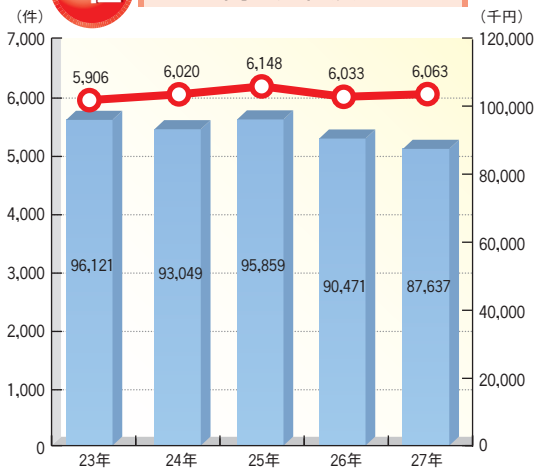
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、前年度と比較して、脂質異常症・高血圧性疾患の構成比は増加し、5大生活習慣病全体の構成比も増加した。

生活習慣病が占める費用額の割合は、平成27年5月診療分の総費用額が948,009,070円で、がんが11.03%、生活習慣病関連が37.28%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.24%、虚血性心疾患等7.03%、となっている。

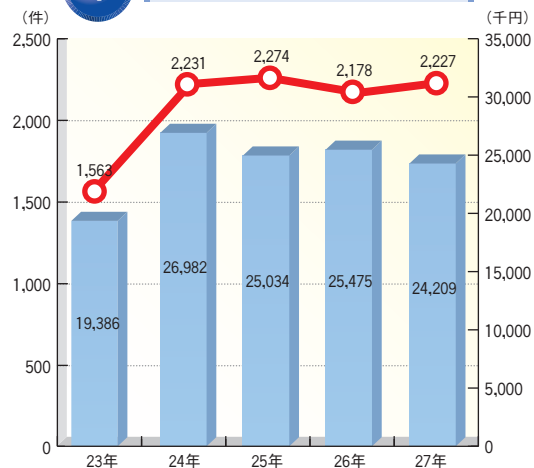
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

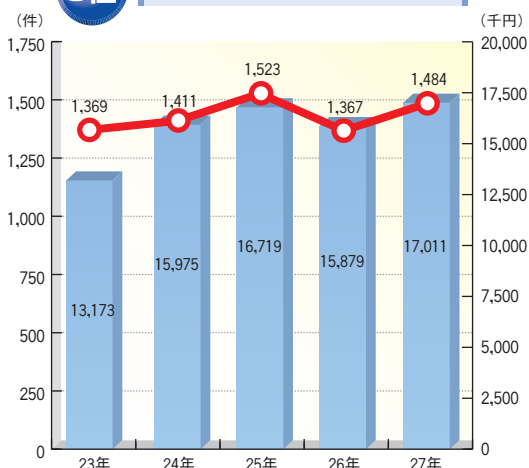
1位 高血圧性疾患



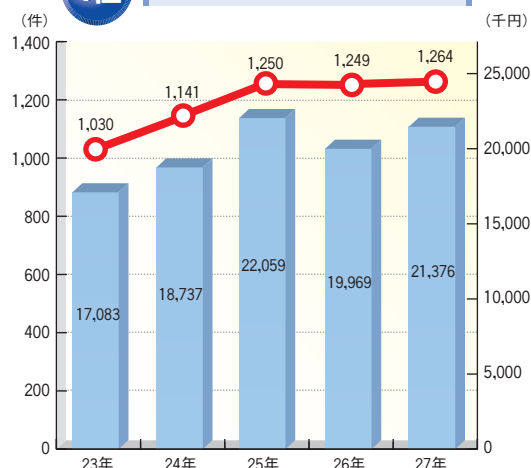
2位 歯肉炎及び歯周疾患



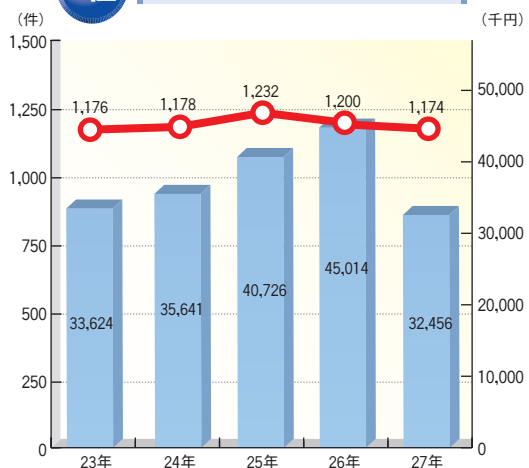
3位 屈折及び調節の障害



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 糖尿病



6位 その他の消化器系の疾患

